

YAだより 12月号

TEL (0587) 56-2306
<http://lib.city-konan-aichi.jp/>

発行：江南市立図書館
(2019年12月発行)



映画の日

12月1日は映画の日です

明治29年(1896年)初めて神戸で映画が上映され、この年から数えて60年目にあたる昭和31年(1956年)に一般社団法人映画産業団体連合が12月1日を「映画の日」と定め、日本における映画産業発祥(日本で初めての有料公開)を記念する日としました。

- 12/26(木)は、館内整理日のため休館です。
- 12/29(日)~1/4(土)は、年末年始のため休館します。返却は、各支所・ブックポストをご利用ください。



- 館内での携帯の通話をご遠慮ください。
- 本が壊れたとき、破れたときは図書館で修理します。そのままカウンターにお申し出ください。
- 本への書き込みや切り取りをしないで、大切に扱ってください。
- 返却期限はお守りください。



人権週間(12月4日~10日)



国際連合は、昭和23年12月10日に世界人権宣言を採択したことを記念して、12月10日を人権デーと定めています。日本では、昭和24年から毎年12月10日の人権デーを含む1週間(12月4日~12月10日)を人権週間と定め、人権を尊重する考え方を広め、その理解を深めてもらうための活動を全国で行っています。皆さんの近くでもイベントなどを開いていますので、参加してみてください。

参考 URL 法務省 Kids Room
<http://www.moj.go.jp/KIDS/info/jinkenkyoku.html>



おすすめ映画の
あらすじと解説
ジャンル別で
紹介



778.2

『ナトセンおすすめYA映画館』
名取 弘文／著
子どもの未来社

778

『12歳からの映画ガイド』
佐藤 忠男／著
小学館



大ヒット映画の
原作小説



B913 シ

『小説天気の子』
新海 誠／[著]
KADOKAWA

B913 ホ

『バケモノの子』
細田 守／[著]
KADOKAWA



新しくはいった本



2019.10.9~2019.11.10

『人生のサバイバルカ』 159サ

佐藤優／著 講談社



何のために勉強するのか？ これからの時代をどう生きるか？ 佐藤優が次世代に手渡す、ハードな世界を生き延びる知恵。沖縄県立久米島高等学校にて2018年6月に行われた特別授業を元に再構成。

『となりの難民』 369

織田朝日／著 旬報社



自国で起きた戦争や迫害、差別からのがれるため、他国へ避難する「難民」たち。彼らはどんな思いで日本へ来て、どんな境遇で、どんな生活をしているのか。外国人支援団体の主宰者が日本にいる難民の姿を紹介する。

『15歳、まだ道の途中』 K913タ

高原史朗／著 岩波書店



「悩み」も「笑い」もてんこ盛りな日々。僕らの旅路は、いま始まったばかり！ 中学3年の1年間で起こる出来事や人とのかかわり、そこに流れる感情を、15歳の僕と仲間たちの目を通して描く、思春期の物語。



大人になったらしたい仕事 3	朝日中高生新聞編集部／[編]	朝日学生新聞社	366.2
臨床工学技士になるには	岩間靖典／著	ぺりかん社	498.14
湖の国	柏葉幸子／作	講談社	913カ
怪盗探偵山猫 [6]	神永学／著	KADOKAWA	913カ
太陽はひとりぼっち	鈴木るりか／著	小学館	913ス
この海を越えれば、わたしは	ローレン・ウォーク／作	さ・え・ら書房	933ウ
フラミンゴボーイ	マイケル・モーパゴ／作	小学館	933モ
白銀(しろがね)の墟(おか)玄(くろ)の月 1 2	小野不由美／著	新潮社	B913オ
レギュラーになれないきみへ	元永知宏／著	岩波書店	K783

